

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

森林資源量調査検討会（第4回）の実施について

8月22日（金）

第4回目の森林資源量調査検討会では、GISの基本操作に関する講義と実習を実施した。

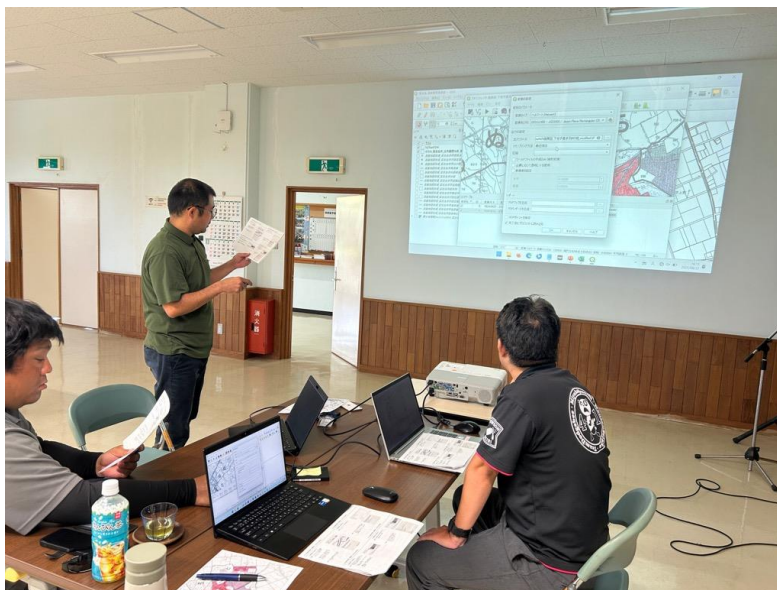
今回の講義と実習では、市役所及び森林組合職員に対し県職員からGIS（地理情報システム）の概要の説明、GISの基本操作、実際の測量データや紙図面を用いて作図の操作実習を行った。

操作実習ではGISのソフトウェアの中でも「QGIS」を用いての説明を行った。

「QGIS」は無償提供されているソフトウェアで、操作性も高く、日本の林業分野でも活用がすすんでいるため、インターネットで情報も多い反面、これまでGISに馴染みのない方にとっては、聞きなれない専門的な用語も多く、多機能な分、操作に慣れるまでに時間がかかることから敬遠されがちである。今回、3時間程の講習会であったが、参加者が作図まですることができた。

次回以降の検討会では、実際に現地で測量及び森林資源量調査、GISデータの作成を予定しており、実際の業務の流れや必要な事項などを確認し、関係者間での取りまとめに向けた検討をおこなっていく予定である。

今後も関係者と調整を続けて、森林資源調査を実施し、宮古島市有林の適切な管理および島産材の利用拡大に繋がるよう取り組んでいきたい。



（報告者：宮古農林水産振興センター 玉城、山城）